

74新破天荒



最後学年がいつに過ぎました

本日、七十四回生の皆さんは、姫路南高等学校での三回目の四月を迎え、最上級生となりました。

どんな春休みを過ごすことができましたか？部活動も、気付けばあと一ヶ月で終焉を迎える人もいます。それを考えれば、課題が手に付かなかったのか、どさくさに紛れて、昨年の春休みの生活と何も変えることができなかったのか、或いはついに、今までとは違う、覚悟を感じることができた春休みを過ごすことができた今日となったか。

後悔のない、明日からの課題考査に、不安と期待を感じる今日であることを祈りたいと思っています。

この春休みに、今回は皆さんと同世代が発信したニュースも含めて紹介したいと思います。

不易な

七十四回生学年団

蓋を開けてみると、七十四回生学年団は何一つ変わることはありませんでした。前校長先生のどんなメッセージがここに込められているか、考えてみてください。

私たちも考えたいと思います。次号で学年の先生から、皆さんへの想いを伝えてもらう予定にしています。

変えるより変わる 流行とはそんなもの

七十四回生の、一年先の姿を常に想像し続けよう。良くも悪くもその想いの先に、自分が変わっていく姿を感じることが出来ます。

変化を感じることが、一番自分を変化させる武器です。

〜したい

と思うのは、そこにある願望、言うならば、できていない自分が見えているから。

それは悪いことではなくて、一つの「個性」だと思っています。

「できなきや、やらなきや」もいけれど、「これできるようになった」を認めてやることも見落とさないで下さいね。

連絡が大変遅くなりました。四月と五月の予定を、取り急ぎ連絡します。

四月の予定

八 日(月)	一学期始業式
九 日(火)	対面式・生徒総会
十 日(水)	課題考査三限より 七限なし 課題考査 文系は一限のみ 理系は三限まで
十一日(木)	身体測定 三・四限
十二日(金)	離任式 五・六限
十六日(火)	教育相談
十八日(木)	進路講演会(保護者も参加可)
十九日(金)	球技大会(午前中)
二十三日(火)	尿検査①
二十四日(水)	教育相談
二十九日(月)	昭和の日

五月の予定

二 日(木)	尿検査② 防災訓練
三 日(金)	憲法記念日
四 日(土)	みどりの日
五 日(日)	こどもの日
六 日(月)	振替休日
九 日(木)	生徒会役員選挙
十四日(火)	教育相談
十五日(水)	P.T.A総会
十六日(木)	教育相談
二十一日(火)	中間考査一日目 二十四日まで
二十四日(金)	クリーンアップ作戦(考査後)
二十八日(火)	尿再検査①
三十日(木)	眼科検診(午前中) 内科検診(午後)

加筆・変更の必要になった分は、随時連絡をさせていただきます。

今回より、保護者向けのペーパー配信を停止させていただきます。今まで通り、学校HPには各月始めにはアップしてもらいます。そちらでも、お楽しみください。

散歩道74

クラスコード 51uczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

→ Now 58

発信が止められなくなりました

今月の ……の 勧め

一月	「無駄」
五月	「諦めない」
六月	「捨てる」
七月	「チャレンジ」
一学期末	「さかのぼる」
九月	「テレビ」
十月	「大空間」
十一月	「無」
十二月	「こだわり」
二学期末	「信念」
一月	「探る」
二月	「自制する」
三月	「勇気を探す」
一年最終	
二	「悩むこと」
四月	「本気でぶつかること」
四月 2	「この世界の片隅を大切に」
五月	「主体性」
六月	「客観性」
七月	「ルーティーン」
一学期末	「スマホとの向き合い方」
九月	「詩に触れる」
十月	「破壊する」
十一月	「想いを再生する」
十二月	「夢を目に触れるようにする」
2学期末	「アナログ」
一月	「きっかけ」
二月	「一度諦める」
三月	「失敗の感情で終わらない」
二年最終	

三 年 「思うだけじゃ駄目」

いろいろな別れがあり、そこにいろいろな出会いも加わりました。今まで以上に「やらない」と本気で思うことも増えたかもしれません。

「思うだけじゃ駄目」。思うだけではいつまでも変わりません。

この一年、発信される「頑張れ」は大きな罪にも成りかねません。「想いで留まっていない、こんな言葉で背中を押してほしい、自分の行動に勇気を！」私達も。みんなと共に闘うことができる一九九人の一言を共有させてください。

加えて、あと十二回ほどにどんな「オチ」を用意して毎月を考えているか、受験勉強の息抜きに、自分に勇気を与える「積極的な」想像を続けてください。

保護者の皆様へ

二学年最終号に、別プリントを挟ませてもらいましたが、今号より保護者向け印刷配布を停止します。ただ、本高HPには、今まで通りアップします。写真等は、そちらの方が見やすいかもしれません。保護者の方からのご意見を反映したいと思います。そのうえで、改めてご意見を頂けると嬉しいです。

行動の変化

あなたは、他人に対して挨拶する際に、その相手の姿に一番最初に気付いたとき、あなたが「一番に」声を発することができる人ですか、それとも少し躊躇して誰かと一緒に、或いは誰かの声が続いて、声を発するタイプですか？

社会生活の中で、声を発する機会が一番多いのは「挨拶」という行為ではないでしょうか。

受験機会等を本気で考え始めると、少しでも機会を多くしたいと考えるのですが、その機会は、総合選抜型、学校推薦型、指定校選抜型というものになります。

今までも何度か紹介してきましたが、これらの受験には

「表現」

がついて回ります。この「表現」の重要なツールである「声を発する」、「声を伝える」ことを、今まで以上に、日頃の「挨拶」を使ってみてはどうですか？

変化を気にすることもない「挨拶」が、数ヶ月を経たときに、「挨拶」の後ろに何かの会話が続くようになつたりしているかもしれませんよ。

目の前の相手からの発言に対して、その「対応力」や「反応力」を、日頃の生活の中から鍛えていって下さい。

今号の最後に

久しぶりに、桜も入学式に満開の時期を合わせているようで、最近の学年通信の各学年第一号に掲載することが多かった、桜の下での集合写真が掲載することができません。

ただ、七十四回生学年団が前述したように、何も変わることがなかったことを逆手にとって、



最終学年、すっかり走り切りましょう。